

特集



ジュニア景観士講座

子どもまちなみ探検隊



きれいな空とやわらかな水辺、人にやさしく美しいまちなみをめざして～



今 良好な都市景観の形成
といった 心のゆたかさを
実感できる都市づくりが求
められています
このためには 私たち市民
一人ひとりが 千歳の景観
を大切にして 美しいまち
づくりを意識することが必
要です
今回の特集では 都市景観
の形成を推進するための人
材育成事業として 今年度
からスタートしたジュニア
景観士講座「子どもまちな
み探検隊」について紹介し
ます

ジュニア景観士講座の日程

●1日目 (平成15年8月11日)

会場：千歳市役所

- 9時30分 受入隊式 (市役所会議室)
- 10時 グループ分けと自己紹介
- 11時 千歳駅周辺をカメラを持ってまちなみ探検
- 12時30分 昼食
- 13時30分 まちなみマップづくり
- 14時30分 発表会
- 15時 解散

●2日目 (平成15年8月12日)

会場：サケのふるさと館

- 9時30分 集合
- 10時 探検の打ち合わせ
- 10時30分 サーモンパーク周辺をまちなみ探検
- 11時30分 昼食
- 12時30分 グループでまちなみマップづくり
- 14時 グループによる発表会
- 14時30分 ジュニア景観士の認定
- 15時 解散

楽しく学ぶことができた ジュニア景観士講座

ジュニア景観士講座は、タ
ウンウォッチングやまちづく
りワークショップの参加をと
おして、子どもたちに千歳の
景観のすばらしさや、まちづ
くりに参加する楽しさを知つ
てもらうなど、子どもたちの
都市景観の形成に対する意識
を高めることや、公共心を育
むことを目的として、平成15
年8月11日と12日の2日間の
日程で行いました。

講座は、千歳市都市景観ア
ドバイザーの濱田暁生さん
(CIS計画研究所)と協力
者の東田秀美さん(特定非営
利活動法人 旧小熊邸倶楽部
代表)の二人の講師から景観
のとりえ方や景観づくりの手

法などについてアドバイスを
いただいたながら、楽しく終え
ることができました。

子どもまちなみ探検隊 が見たものは

まちなみ探検には、応募
により参加した市内の小学
4～6年生18人、同伴の大
人など12人、合計30人が参
加しました。

参加者は4つのグループ
に分かれ、一人ひとりがカ
メラと地図を持ち、まちな
みの中で気に入ったもの、
気に入らないもの、おもし
ろいものなど、気づいたも
のを写真やコメントといっ
しよに地図にまとめ、最後
にみんなで発表するという
方法で進められました。



●探検1日目

(千歳駅西口から市役所まで)

JR千歳駅東口に向かった子どもたちのグループは、駅東口広場にとても大きな木があることや、メリー幼稚園やインディアン水車通の花壇が道行く人たちの目を楽しませてくれることに気づき、まちなみの花や緑の大切さを感じていました。なかでも、清水町寿クラブが取り組んでいる千歳川沿いの花壇は、千歳川周辺の景観をより一層ステキにしていることを学びました。

JR千歳駅から仲の橋方面に向かった子どもたちのグループは、駅大通を歩きながら、マンホールに描かれたヤマセミやサケを発見したり、電柱や電線で成長を妨げられている街路樹を見て、電線の地中化の必要性を感じたようでした。



また、子どもたちは、道路にできた水たまりを見つけて、歩道のちよつとしたくぼみや段差も歩く人にとつて障害になることに気づくなど、バリアフリーの視点からもまちなみをとらえることができました。



●探検2日目

(サーモンパーク周辺)

晴天に恵まれた2日目は、さまざまな視点でまちなみを見てもらうため、子どもたち一人ひとりにお年寄り、大人、子ども、赤ちゃん、犬または猫という役になってもらい、まちなみの観察をしました。

お年寄り役になった子どもは、「歩道」に歩きやすさの順位をつけたり、ひと休みできそうな木陰やベンチのチェックをしたりしていました。

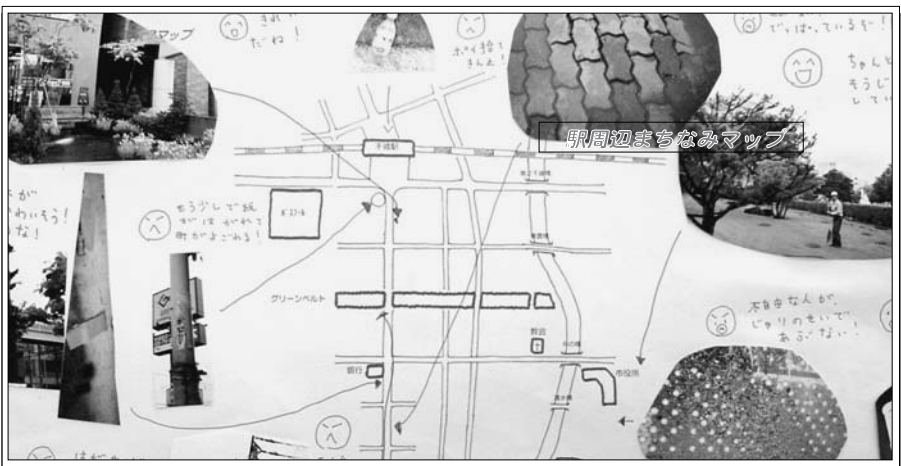
サーモンパークの探検で子どもたちは、インディアン水車橋から見える千歳川の風景などから、身近にある自然の

大切さを感じとっていたようです。



●まちなみマップの作成

探検終了後子どもたちは、写した写真を早速プリントし、できあがった写真とメモをもとに、初日は各自で、2日目はグループごとにまちなみマップを作成しました。



探検後の発表会

2日間のまちなみ探検を終え、子どもたちからはつぎのような意見が出されました。



- 気に入らないもの
- おこったぞ!!

- 色の派手すぎる建物があった
- 電柱に貼られた広告はきたないのではがしてほしい
- 複雑な電線を地下にうつしてほしい
- 壊れた看板がきたない
- 分別されていないごみや、あふれているごみ箱があった
- ノボリや路上駐車などで歩道がせまくなっていた



- 気に入ったもの
- ステキなもの

- きれいな教会を発見した
- 店の前に飾られたプランターの花がきれいだった
- 緑が多くあふれていて気持ちいい
- 川に近づくことができるのはうれしい
- 車いすの人も使えるトイレはうれしい
- インディアン水車周辺の風景がきれい
- やわらかい歩道が歩きやすかった



- ひどい...
- 悲しい...

- 街路樹を切るのはかわいそう
- 駅前タバコの投げ捨てがひどい



- あこい! おもしろい!
- へえ!!

- 歩道の柵にサケの模様を発見した
- 変わった形のマンションを発見した

詳細

ホームページアドレス
http://www.city.chitose.hokkaido.jp/machi

企画部まちづくり推進課都市計画係

☎(24) 3131 内線 301

○参加したこどもの感想

- 参加できてとても楽しかった。来年もぜひ参加したい。
- まちなみマップを学校の自由研究でも発表したい。
- みんないろいろな考えることができてよかった。
- 来年も参加できるようお母さんをお願いしたい。



とうだ ひでみ
東田秀美さん

ジュニア景観士講座を終えた皆さんの肩には美しい千歳の未来がかかっています。今日からは、千歳のまちなみが少しでも美しくなるように心がけてもらいたいと思います。



はまだ あきお
濱田暁生さん

まちなみ探検で考えたこと、感じたことを毎日に生かしてほしいと思います。お父さんやお母さん、クラスの友だち、先生と話し合ったりすることで、きっと今まで以上に千歳のまちがステキになっていくと思います。

○講師のアドバイス

まちなみ探検を終えて…
アドバイスや感想

○同伴した大人の感想

- 子どもといっしょに、何かを感じることは楽しくまた参加してみたい。
- 子どもの楽しく行動している姿がたのしい。
- 千歳の豊かな緑と川を大切にしていきたい。
- ごみの落ちていないまちにしたい。道路や川でポイ捨てが多すぎます。

美しい千歳のまちを

未来へ引き継ぐために

市は今後もこのような学習の機会を通じて子どもたちに千歳のまちに対する愛着と美しいまちにしようとする心を育んでいきたいと考えています。

そして一人ひとりが自分たちのまちがどうあるべきかを考え行動していくことで美しい千歳が実現されると信じています。

私たち大人も日々の暮らしのなかで地域の景観について考えつぎの世代を担う子どもたちへ美しい千歳のまちを引き継いでいく必要があるのではないか。